

九州情報大学大学院

社会人入学のご案内

九州情報大学大学院は、地域社会の発展に奉仕する研究の知的拠点を目指すとともに、会計学・税法学分野の高度な専門職業人育成のための夜間教育を行っています。

本学大学院には、博士前期課程と博士後期課程が設けられています。このうち、博士前期課程では、指導教授のもとで、特定の研究テーマを深く掘り下げ、経営学、会計学、税法学、情報学の専門能力を高める教育と研究指導を行っています。そして、博士前期課程を修了し、学位論文の審査・最終試験に合格した方には、修士（経営情報学）の学位を授与します。

さらに、博士後期課程では、経営学、会計学、税法学、情報学のより高度な理論探求を体系的に行い、現代の高度化と複雑化のなかで提起されている経営情報学の課題を解決できる先端的研究者の育成をはかる教育と研究指導を行っています。そして、大学院博士後期課程を修了し、学位論文の審査・最終試験に合格した方には、博士（経営情報学）の学位を授与します。

○ 税理士試験科目免除

本学大学院博士前期課程において、会計学または税法学に属するテーマに関して研究を行い、修士（経営情報学）の学位を取得したうえで、その修士論文が国税審議会から認定を受けた場合、税理士試験の一部科目が免除されます。

また、本学大学院博士後期課程において、会計学分野で、博士（経営情報学）の学位を取得したうえで、その博士論文が国税審議会から認定を受けた場合には、会計学に属する科目2科目が免除され、税法学分野で、博士（経営情報学）の学位を取得したうえで、その博士論文が国税審議会から認定を受けた場合には、税法に属する科目3科目が免除されます。

○ 社会人教育の特色

- (1) 博多駅近くにサテライトキャンパスを置き、平日夜間の授業を開講しています。月曜日から金曜日の勤務後に、社会人の方が通学しやすい利便性のよいキャンパスで、会計学と税法学の専門知識を修得し、修士論文の指導が受けられます。
- (2) 会計学分野の教育科目として、会計監査特論、税務会計特論、会計情報学特論の計6単位の講義を置いています。また、税法学分野の教育科目として、税法学特論Ⅰ（租税法総論）、税法学特論Ⅱ（所得税法）、税法学特論Ⅲ（法人税法①）、税法学特論Ⅳ（法人税法②・消費税法）、税法学特論Ⅴ（相続税法・手続法・争訟法）の計10単位の講義を置いています。そのほか、民法特論、会社法特論、民事・行政訴訟特論、経営学特論、財務管理特論等の科目が開講されています。それらの講義により、会計学・税法学・経営学等の高度な専門知識を修得することができます。
- (3) 9月(秋期)入試で合格した方については、入学前の10月から12月に、会計学と税法学の研究に向けた準備のための事前指導を実施します。

税理士試験科目免除の概要

● 博士前期課程

本学大学院博士前期課程において、会計学・税法に属する科目を修得し、会計学または税法に属する修士論文により学位を取得して、その修士論文が国税審議会から認定を受けた場合、税理士試験において、科目の一部が免除されます。

▶ 会計学に属する科目 1 科目免除の場合

- | |
|---|
| (1) 会計学に属する開講科目の中から 4 単位修得し、必要な研究指導を受ける |
| ・ 会計監査特論・税務会計特論・会計情報学特論（各 2 単位） |
| ・ 研究指導（演習Ⅰ・Ⅱ 特別演習Ⅰ・Ⅱ） 担当者（春日克則、山下壽文） |
| (2) 修士論文の認定を受ける |

▶ 税法に属する科目 2 科目免除の場合

- | |
|--|
| (1) 税法に属する開講科目の中から 4 単位修得し、必要な研究指導を受ける |
| ・ 税法学特論Ⅰ・税法学特論Ⅱ・税法学特論Ⅲ・税法学特論Ⅳ・税法学特論Ⅴ（各 2 単位） |
| ・ 研究指導（演習Ⅰ・Ⅱ 特別演習Ⅰ・Ⅱ） 担当者（平山誠一郎、丹羽崇之） |
| (2) 修士論文の認定を受ける |

● 博士後期課程

本学大学院博士後期課程において、会計学・税法に属する科目を修得し、会計学または税法に属する博士論文により学位を取得して、その博士論文が国税審議会から認定を受けた場合、税理士試験において、その科目の全部が免除されます。

▶ 会計学に属する科目 2 科目免除の場合

- | |
|------------------------------------|
| (1) 会計学に属する開講科目の単位を修得し、必要な研究指導を受ける |
| ・ 会計情報学特別研究・税務会計特別研究 |
| ・ 研究指導（演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ） 担当者（春日克則、山下壽文） |
| (2) 博士論文の認定を受ける |

▶ 税法に属する科目 3 科目免除の場合

- | |
|-----------------------------------|
| (1) 税法に属する開講科目の単位を修得し、必要な研究指導を受ける |
| ・ 税法学特別研究 |
| ・ 研究指導（演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ） 担当者（調整中） |
| (2) 博士論文の認定を受ける |

令和 6 年度入試の概要

(1) 入学試験の日程

● 博士前期課程

試験区分	出願期間 締切日(必着)	試験日	合格発表日	入学手続 締切日(必着)	試験会場
秋期	令和 5 年 9 月 4 日(月) ▼ 9 月 11 日(月)	令和 5 年 9 月 20 日 (水)	令和 5 年 9 月 27 日 (水)	令和 5 年 10 月 3 日 (火)	本学 太宰府キャンパス
春期	令和 6 年 2 月 13 日(火) ▼ 2 月 20 日(火)	令和 6 年 2 月 29 日 (木)	令和 6 年 3 月 8 日(金)	令和 6 年 3 月 15 日 (金)	

● 博士後期課程

出願期間 締切日(必着)	試験日	合格発表日	入学手続 締切日(必着)	試験会場
令和 6 年 2 月 13 日(火) ▼ 2 月 20 日(火)	令和 6 年 2 月 29 日 (木)	令和 6 年 3 月 8 日(金)	令和 6 年 3 月 15 日 (金)	本学 太宰府キャンパス

(2) 選考方法

● 博士前期課程

◇ 一般・外国人留学生	論述試験*、外国語（英語）試験、口述試験の総合判定
◇ 社会人	論述試験*、口述試験の総合判定
* 論述試験（経営学、経済学、会計学、税法学、情報学）の受験科目及び科目数	
1 一般・外国人留学生・社会人共通	
・ 論述試験は 2 問を選択し、少なくとも 1 問は、自分の専攻系から選択する。	
・ 税法学を専攻系とする受験者は、税法学問題 2 問、または税法学問題 1 問・会計学問題 1 問を選択する。	
2 税理士試験の一部合格者の特例	
税理士試験に 1 科目以上合格している者は、上記 1 によらず次による。	
・ 会計学を専攻系とする者は、会計学問題 1 問のみを選択する。	
・ 税法学を専攻系とする者は、税法学問題 1 問のみを選択する。	

● 博士後期課程

◇ 一般・外国人留学生・社会人	外国語（英語）試験*、口述試験の総合判定**
* 英検（実用英語技能検定）準 1 級以上に合格している場合（英検準 1 級以上と同程度の試験を含む）は外国語（英語）試験を免除する。	
** 本学大学院博士前期課程を修了した者は口述試験のみとする。	

大学院説明会

九州情報大学大学院についての説明会（令和6年4月入学）を開催します。

■ 日 時（予定）

第1回 令和5年7月29日（土） 9：30 から受付 10：00 開始

第2回 令和5年8月20日（日） 9：30 から受付 10：00 開始

■ 場 所

本学・太宰府キャンパス

■ 内 容

大学院の説明をお聞きいただいた後、希望者に個別の面談を行います。

（1）教育研究指導の概要

- 履修内容について
- 修士論文指導について
- 博多駅東サテライトキャンパスについて
- 入学前指導について

（2）入学試験の概要

（3）事前相談

■ 参加申込

参加される方は件名を「〇月〇日実施 大学院説明会参加申込み」とし、

- ①氏名 ②住所 ③連絡先（携帯電話等） ④専攻科目（会計学・税法学）
⑤出身大学・学部・学科 ⑥勤務先 ⑦メールアドレス

を記入の上、3日前までにメールでお知らせください。

・説明会参加申込み専用メール：nyushi@g.kiis.ac.jp

※問い合わせ先とメールアドレスが違いますので、ご注意ください。



<個別相談>

上記の説明会のほか、個別の相談についても、随時受け付けております。

※ ご不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先にお気軽にご連絡ください。

問い合わせ先：九州情報大学 入試広報課

〒818-0117 福岡県太宰府市宰府 6-3-1

TEL：092-928-4000 FAX：092-928-3200

mail：nyushi@kiis.ac.jp

URL：<https://www.kiis.ac.jp/>

